

評価機構

2023

9

月号

NEWS LETTER

特集

歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 の運用開始



人の安心、医療の安全 JQ
公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業の運用開始

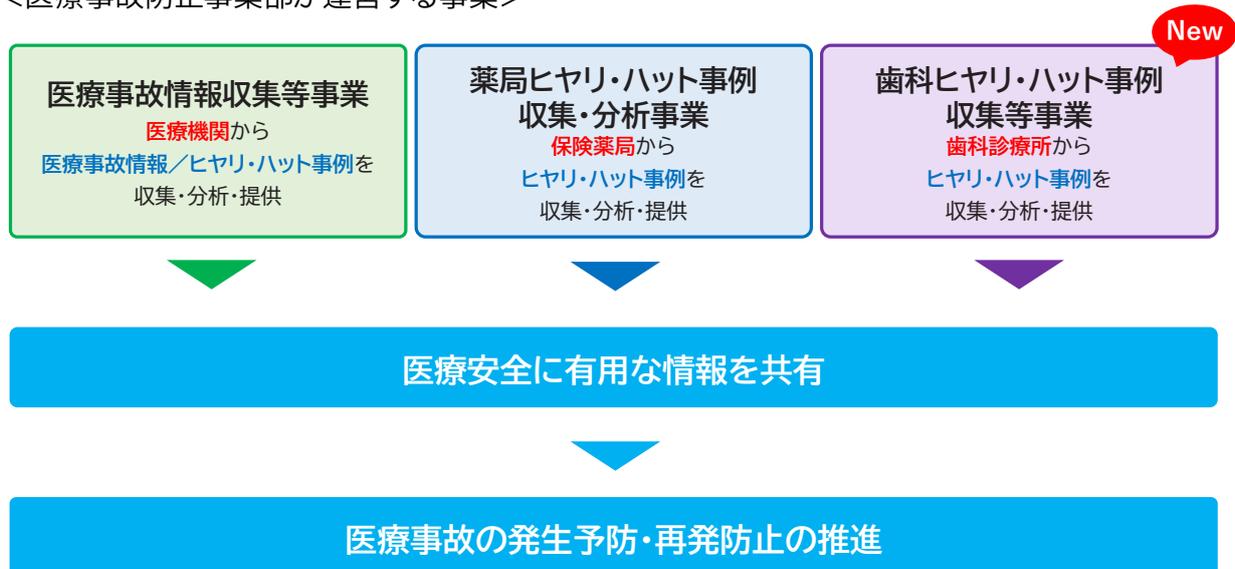
医療事故防止事業部 部長 坂口 美佐
係長 三輪 一真

1. はじめに

医療事故防止事業部は、医療機関を対象とした医療事故情報収集等事業と、薬局を対象とした薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業を運営しています。いずれの事業も医療安全の推進を目的として、事例を報告いただき、分析して広く情報提供を行っています。情報を匿名化し、懲罰的な取り扱いをしないなど、報告しやすい環境の中で多くの事例を収集しており、全国における医療安全確保に向けた仕組みとして定着が進んできました。

この度、これらの事業に加え、新たに歯科診療所を対象とした歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業の運用を開始することとなりましたので紹介します。

<医療事故防止事業部が運営する事業>



2. 経緯

2017年度、歯科分野の医療事故やヒヤリ・ハット事例の収集・分析を行う事業として、本事業の前身となる「歯科医療事故情報収集等事業」が厚生労働省により開始されました。システム構築および保守・運用、データの収集・分析、評価などは日本歯科医師会によって運営されました。2018年度、同事業は、本事業部が運営する医療事故情報収集等事業との統合を含めた見直しが行われ、2019年度には、歯科医療機関よりヒヤリ・ハット事例を収集する「歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業」として事業を構築する方向となりました。2020年度には、厚生労働省より、「歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業 実施要綱」が示されるとともに、日本医療機能評価機構が事業の運営主体となることとなりました。

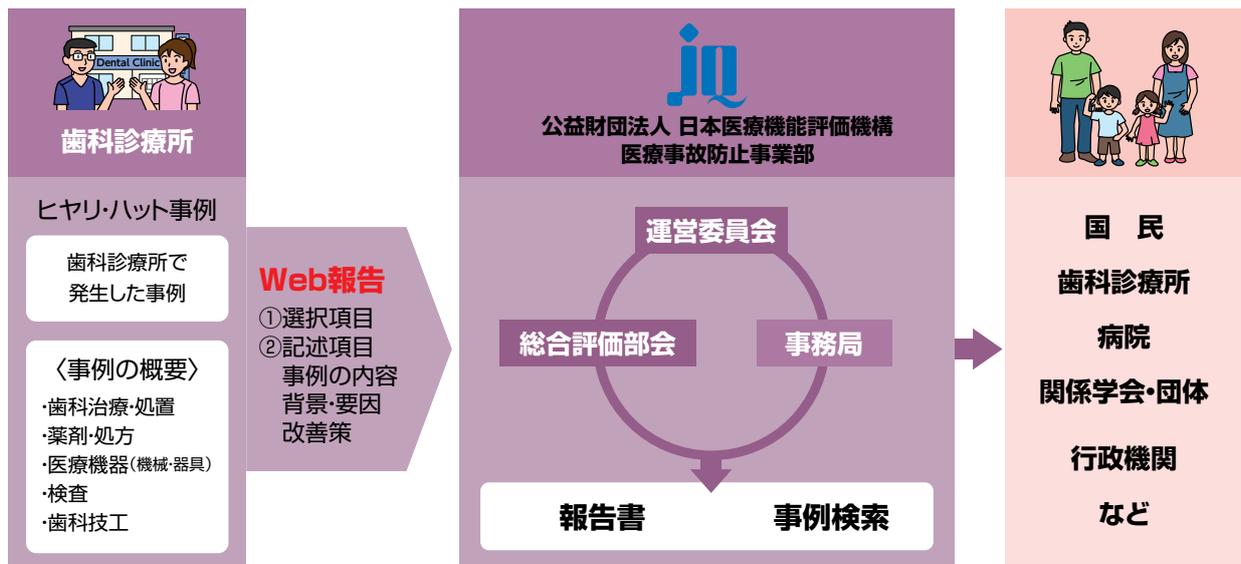
本事業部では、2021年度に歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業検討会議を開催し、報告項目や事業運営の骨子を検討しました。2022年度より、システムの構築や実施体制の検討など運用開始に向けた準備を進め、2023年10月より歯科診療所の参加登録および事例の収集を開始することとなりました。

3. 事業の概要

(1) 事業の目的

全国の歯科診療所から収集したヒヤリ・ハット事例を集計・分析し、その結果を広く歯科診療所や国民へ提供することを通じて、歯科医療における医療安全対策を推進することを目的としています。

<事業の流れ>



(2) 対象医療機関

本事業に参加を希望する歯科診療所

(3) 参加登録の受付および事例の報告開始日

2023年10月1日

(4) ヒヤリ・ハット事例として収集する情報の範囲

ヒヤリ・ハット事例として収集する情報の範囲は以下の通りです。

- ①医療に誤りがあったが、患者に実施される前に発見された事例
- ②誤った医療が実施されたが、患者への影響が認められなかった事例または軽微な処置・治療を要した事例。但し、軽微な治療とは、消毒、湿布、鎮痛剤投与等とする。
- ③誤った医療が実施されたが、患者への影響が不明な事例

(5) 収集する事例

歯科診療所で発生した以下のような事例について報告していただきます。

- 歯科治療・処置に関する事例
- 薬剤・処方に関する事例
- 医療機器(機械・器具)に関する事例
- 検査に関する事例
- 歯科技工に関する事例 等

(6) 事例の報告方法

事例は、インターネット回線を通じ、Web上の専用画面から報告いただきます。

(7) 報告項目

事業に参加いただいた歯科診療所に、歯科に特化した以下の項目について報告いただきます。

- 歯科ヒヤリ・ハット事例の概要に関する情報
- 患者に関する情報
- 事例にかかわったスタッフに関する情報
- 歯科ヒヤリ・ハットの概要
- 発生状況・内容に関する情報
- 事例の内容に関する情報

(8) 事例の集計・分析

事例を集計・分析した結果については、情報を匿名化したうえで、事例検索や報告書等により公表します。いずれも2024年3月末に公表を予定しています。

本事業に関する情報は、ホームページ (<https://www.med-safe.jp/dental/>) からご覧いただけます。そのほか、パンフレットやリーフレットを作成し、ご案内しています。

<ホームページ画面>



<事業パンフレット>



<事業案内リーフレット>



4. おわりに

このたび、医療事故情報収集等事業、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業に加えて、新たに歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業の運用を開始することとなりました。歯科に特化した報告システムで事例を収集し、情報提供することで、歯科医療の安全の向上につながることを願っています。

今回ご紹介した歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業は、歯科診療所を対象としています。病院で歯科医療に関わる皆様におかれましても、本事業が提供する情報をご活用いただけましたら幸いです。

医療事故防事業部は、これからも医療事故の発生予防・再発防止のため、有用な情報提供に取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

■ 病院機能評価「機能種別版評価項目 3rdG:Ver.3.0」運用開始（評価事業審査部）

病院機能評価事業では、「機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0」の運用を開始しました。これは、2018年度から運用してきた3rdG:Ver.2.0をベースに改定したもので、主な改定点は、「法制度改正等への対応」、「事務管理領域の評価項目・評価方法の見直し」、「一般病院3で新たに導入した評価方法の他種別への展開」の3点です。

詳しくは当機構ウェブサイト (<https://www.jq-hyouka.jcqh.or.jp/top1/>) をご参照下さい。



■ 3rdG:Ver.3.0対応セミナーの動画配信中（評価事業推進部）

機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0に対応したセミナー動画を配信しています。動画は視聴IDを発行してから2年後の月末まで視聴可能で、視聴IDは院内に共有いただけますので全職員が視聴可能です。受審準備の際にはぜひご利用ください。詳細やその他のセミナーは当機構ウェブサイト「セミナー情報」をご覧ください。

●病院機能改善支援セミナー【項目編】

全評価項目（第1領域から第4領域まで）のねらいやポイントをサーベイヤーが1項目3分程度で解説しており、全ての機能種別を網羅しています。

●病院機能改善支援セミナー【審査当日編】

審査当日に実施する「ケアプロセス調査」や3rdG:Ver.3.0で新しく追加された「カルテレ뷰」などについて、サーベイヤーが実演・解説しています。

（セミナー画面イメージ図）



■ 動画「産科医療補償制度の実績と取り組みについて」の公開（産科医療補償制度運営事業）

産科医療補償制度では、より広く制度実績を理解いただくことを目的に、補償対象者のデータ、本制度の運営実績について、審査、原因分析および再発防止の観点から収集、分析した内容をとりまとめた、動画「産科医療補償制度の実績と取り組みについて」を、2023年4月に本制度ホームページに公開しました。

制度実績等のとりまとめの1つとして、重度脳性麻痺の発生率について、制度創設時の2009年と2014年で比較したところ、0.39%から0.31%に減少しました。

なお、本動画は2022年3月に発刊した「産科医療補償制度レポートVol.1」の内容が取りまとめられておりますので、そちらもぜひご覧ください。



（動画）「産科医療補償制度の実績と取り組みについて」

http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp/movie/20230224_sankairyou_nouhinban.mp4



「産科医療補償制度レポートVol.1」

<http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp/documents/systemreport/index.html>



イベント情報

各種セミナーをWeb配信（録画型）やウェビナー（リアルタイム型）等で提供しています。詳細・お申し込みは、下記URLもしくはQRコードからWebサイトにアクセスしてご確認ください。

	事業	開催日/視聴期間	イベント名
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【項目編】
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【審査当日編】
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【一般病院3】
動画配信	評価	2023年10月2日～ 2024年1月31日	病院機能改善支援セミナー【総合】
Web開催	QI	2023年9月8日 10:00～12:00	第16回 運営委員会 (医療の質向上のための協議会) ※公開の会議のため、どなたでも傍聴可能です
プロジェクト 申込	QI	2023年8月7日～ 2023年11月30日 (お申込期間)	2023年度医療の質可視化プロジェクト 【第2次募集】
動画配信	QI	2023年7月4日～無期限	第4回 医療の質向上のためのコンソーシアム
ウェビナー	教育	2023年8月1日～ 2023年10月26日	2023年度 第1回 医療クオリティマネジャー養成セミナー
ウェビナー	教育	2023年11月1日～ 2024年2月2日	2023年度 第2回 医療クオリティマネジャー養成セミナー
ウェビナー	教育	(e-learning) 2023年10月10日～ 2024年1月31日	2023年度 JQ 医療安全管理者養成研修 [下期]
ウェビナー	EBM	2024年2月17日 14時～16時半(予定)	第26回診療ガイドライン作成に関する意見交換会

※QIは「医療の質向上のための体制整備事業」の略称です。

病院機能評価事業のセミナー情報

https://www.jq-hyouka.jcqh.or.jp/event_calendar/



認定病院患者安全推進協議会のセミナー情報

https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/seminar_calendar/



EBM普及推進事業 (Minds) Mindsガイドラインライブラリ

<https://minds.jcqh.or.jp>



医療の質向上のための体制整備事業 (QI)

<https://jq-qiconf.jcqh.or.jp/>



患者安全推進ジャーナルのご案内 (教育研修事業部)

評価機構の認定病院患者安全推進協議会が発行している機関誌です。

6月発行のNo.72の特集「外国人患者を受け入れる」では、さまざまな国・地域から来日した患者の価値観や権利を尊重しつつ、医療の質を担保するために、患者安全担当者をはじめとする医療従事者が知っておくべき情報や課題について考えます。

総論では外国人患者を受け入れるための体制整備について、また各論では、外国人妊婦/食事提供/通訳などの対応方法実例を紹介しています。ぜひお手にとつて院内の体制構築にお役立てください。

患者安全推進ジャーナルのご案内

●会員病院 (毎号3冊を無料で送付いたします)

追加の冊数をご希望の方は、認定病院患者安全推進協議会のホームページより会員サイトにログインしてお申し込み下さい。会員価格は、1冊あたり1,100円(税込)です。

また、毎回、一定の冊数の追加をご希望の場合は、予め追加冊数を1冊単位で指定していただく「年間追加購入」のお申し込みができます。10冊単位で年間追加購入をいただく場合は、最大50%の割引となります。

詳細は、協議会ホームページをご覧ください。

(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/journal/>)

●会員外の病院 (1冊あたり3,300円(税込))

評価機構ホームページ「出版・ダウンロード」からお申し込みください。



編集後記

新秋の候、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。多忙な日々が続きますが、少しの時間を見つけて、心と身体をリフレッシュし、健康を保つことが大切です。気軽にできる運動や、好きな本を読んだり、お気に入りの音楽を聴いたりする時間を取ることも必要ですね。新しい季節に向けて、心機一転し、目標に向かって頑張りましょう。

医療安全情報の公表 (医療事故防止事業部)

医療事故情報収集等事業では、以下の医療安全情報を提供しました。

- No.200
「腹腔鏡の曇り止め用の湯による熱傷」(7月)
 - No.201
「シリンジポンプの単位の選択間違い」(8月)
- 詳細は、本事業ホームページからご覧ください。
<https://www.med-safe.jp/>



No.200 (1ページ目)



No.201 (1ページ目)

評価機構

NEWS LETTER

2023年9月1日発行

発行：公益財団法人日本医療機能評価機構 (略称：評価機構)

発行責任者：河北 博文

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1丁目4番17号 東洋ビル

TEL：03-5217-2320 (代) / (編集：総務部情報企画課)

<https://jcqh.or.jp/> e-mail: info@jcqh.or.jp

本誌掲載記事の無断転載を禁じます